

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年6月23日

栃木県知事
福田 富一 様

提出者

住所 栃木県日光市荊沢字上原597
氏名 古河電池株式会社 今市事業所
所長 金成 邦夫

電話番号 0288-22-3111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和4年度特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	古河電池株式会社 今市事業所
事業場の所在地	栃木県日光市荊沢字上原597
事業の種類	蓄電池製造業 [2951] : 配電盤・電力制御装置製造業 [2914]
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

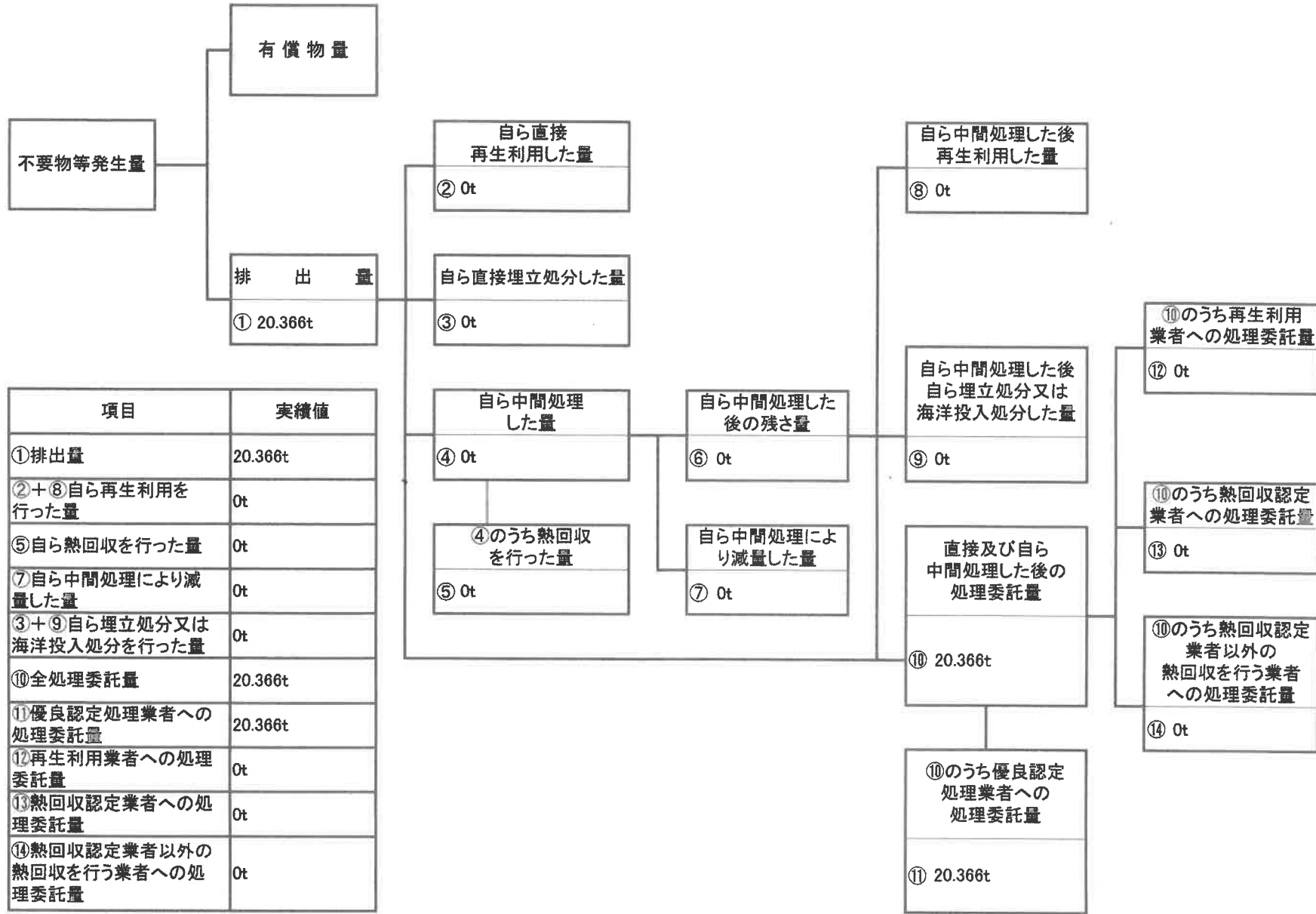
項目	目標値	項目	目標値
排出量	21.105 t	全処理委託量	21.105 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	- t	優良認定処理業者への処理委託量	21.105 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	- t	再生利用業者への処理委託量	- t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	- t	認定熱回収業者への処理委託量	- t
自ら埋立処分又を行う特別管理産業廃棄物の量	- t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t

※事務処理欄



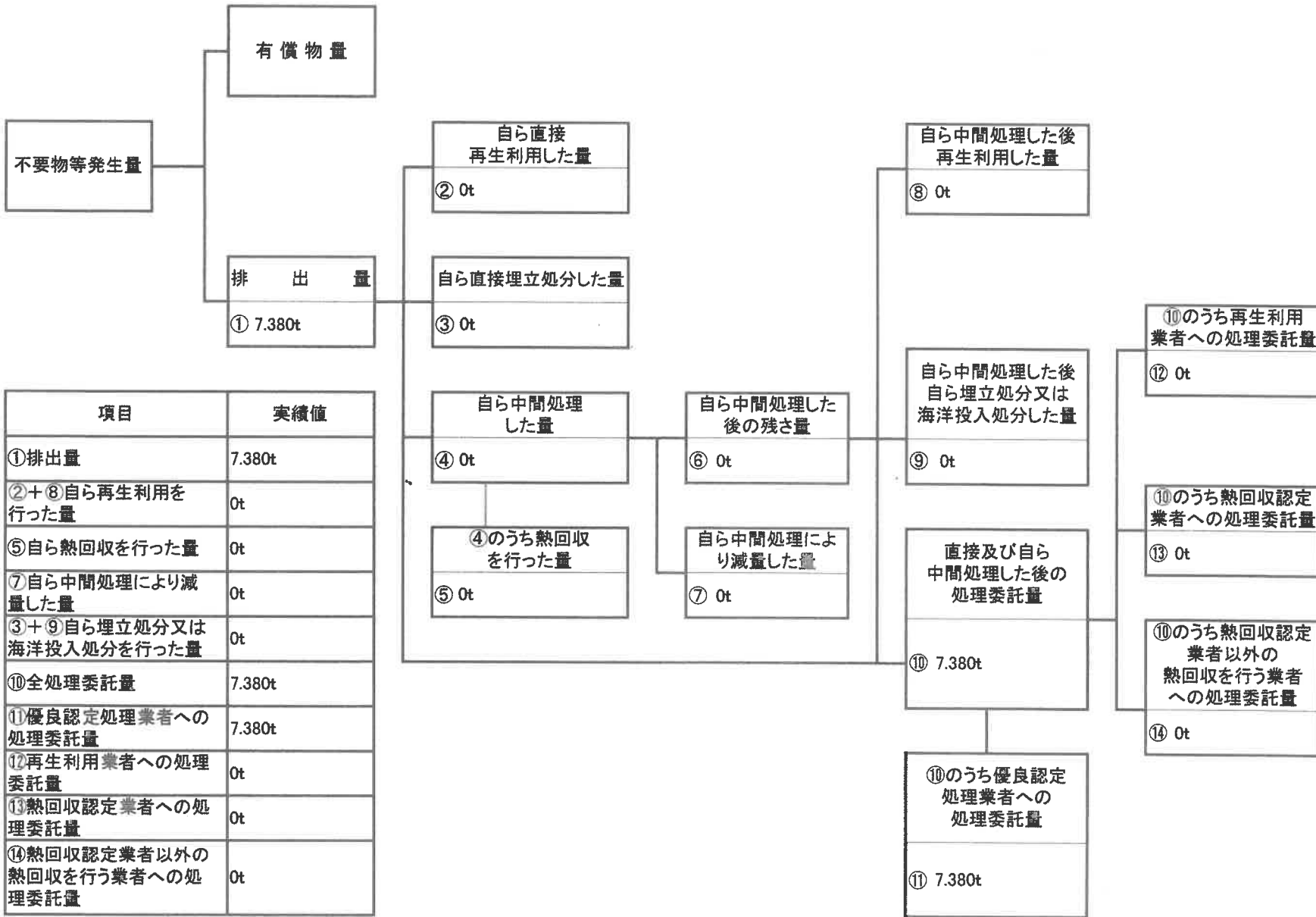
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:特管汚泥)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 特管廃油)



項目	実績値
①排出量	7.380t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	7.380t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.380t
⑫再生利用業者への処理委託量	0t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。